

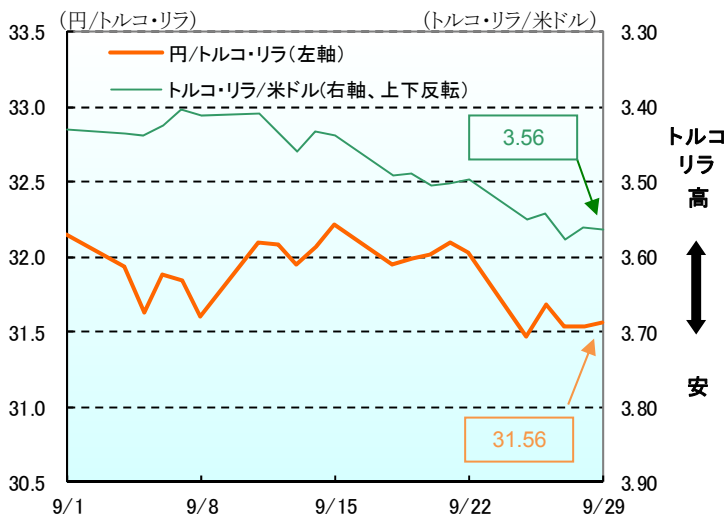
## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年9月23日～2017年9月29日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。トルコ政府は中期経済・財政計画を発表しました。2017年から20年までの実質GDP(国内総生産)成長率がそれぞれ前年比+5.5%となる見通しが示されるなど、トルコ政府が成長を重視する姿勢が示されました。トルコ金融市場では、イラク北部のクルド人自治区で独立の是非を問う住民投票が予定通り実施されたことを受けて、地政学リスクの高まりが懸念され、通貨・債券共に軟調な推移となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年9月1日～2017年9月29日)



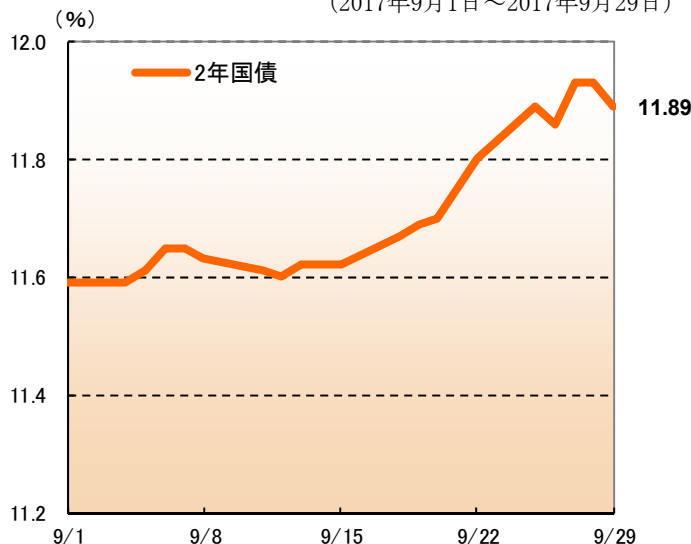
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は、9月の消費者物価指数の発表が予定されています。事前の市場予想では、前年比でさらなる加速が見込まれています。クルド人自治区で住民投票が実施されたことを受けてエルドアン大統領は、クルドの指導者らに対して周辺地域で「民族紛争」を引き起こしかねないため独立を推し進めないように警告しました。トルコは自国内のクルド人の独立機運が高まることなどを懸念しており、今後もイラク北部のクルド人自治区の独立への動きに対して警戒を続けると考えます。引き続き、地政学リスクの高まりには注意が必要と考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年9月1日～2017年9月29日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>